

1 戦争も、戦後の復興期も体験

**松本**..我々は、戦中生まれ。山田の畑にまで米軍機が飛んできて銃撃があったり、幼いながらに怖かったのを覚えていますよ。

**森中**..私が心に残っているのは、戦後。シベリアで抑留されていた父が帰ってきたのをJR吹田駅まで学校の先生や生徒、近所の人たち総出で迎えに行きました。みんなに「よかつたね」と言ってもらえて。何をすることも地域みんなて、という時代でしたね。

**坊野**..戦中・戦後はまだ宮崎で過ごしていましたが、食糧がなく貧しい時代でした。吹田も空襲を受けているし、大変だったと思います。

2 家の外はすべてが遊び場！

**松本**..子供のころは、稲刈り後の田んぼでボール遊びをしました。通っていた千里第一小学校には、国鉄(日本国有鉄道。現JR)の片山の官舎に住んでいる同級生がいたので、あの辺りも格好の遊び場。当時は関西鉄道学園という研修機関があって鉄道の引き込み線が設けられていました。そこへ行って運搬用のトラックにこっそり乗るのが楽しかったな。



昭和30年頃の弘済院付近の風景。(野口昭雄氏撮影)



大阪万博を前に続々と公団住宅が開発された。(産木民彦氏撮影)



昭和30年代の山田。稲刈り後の田んぼは子供たちの遊び場だった。(野口昭雄氏撮影)

**森中**..少し歩けば自然もたくさんありましたね。小学校から古江台のほうへうさぎ狩りに行ったことも。さつねやたぬきもいました。ふだんは家の近所やちよつとした原っぱが遊び場です。げんば、かくれんぼ、ゴム跳び。同級生だけじゃなくお兄ちゃん、お姉ちゃん、年下の子ども一緒になって遊びました。

**松本**..現在関西大学の高校や幼稚園になっている所は、かつて大正時代から続く遊園地でした。一時、菊人形展が開かれていたこともあり、見に行ったのを覚えています。



昔の吹田絵葉書。中央に遊園地も描かれている。

# 80-YEAR-OLD CAFE

吹田市と同じ昭和15年(1940年)に生まれ、まちの移り変わりを 知るみなさんが集まり、「吹田の昔とこれから」を語りました。



MATSUMOTO MUNESHIGE

松本 宗成 さん

4歳で現在の山手町へ。以後、現在まで同町在住。吹田市内の小・中学校を卒業。山手地区連合自治会会長。



MORINAKA MINORI

森中 美紀 さん

現在の寿町生まれ。吹田市内の小・中学校を卒業。現在、体育振興連絡協議会で活動中。竹谷町在住。



BOUNO YUKIO

坊野 由紀男 さん

宮崎県から吹田へ移り住み、20代で公団に入居。以来、桃山台在住。40年にわたり民生委員・児童委員を務めた。



多くの人でにぎわった昭和45年開催の大阪万博。(野口昭雄氏撮影)

3 大阪万博で、まちは大きく進化

**坊野**..50年ほど前、吹田で初めて住んだ家が、関西大学の近く。学生は多かったけど、住人は少なく飲食店も少しかつた。今は随分分がよくなりましたね。その後、千里ニュータウンが開発され公団に入居。竹やぶを切り開いてできた住宅地だから、床下にたけのこが生えてきたなんて話もありましたよ。

**森中**..昭和45年(1970年)の大阪万博で北大阪急行が開通し、吹田インターチェンジが開業。住宅開発もあり、吹田はすごく変わりました。

**坊野**..万博のソ連館で働く人たちの宿舎が南千里にあり、知人を通じてソ連の人と友達になりました。一緒に飲んだのが良い思い出。閉幕して帰国されるときに不要になった鍋など頂いて、いまだに使っているんですよ。

4 未来の吹田へ託したいこと

**松本**..いまや吹田の田畑は、ほとんどマンションなどになりました。でも、人が集う華やかで美しいまちなみができるのは、良いことだと思います。

**坊野**..千里ニュータウンができたころでも家に風呂がなくて銭湯に通

う人が多かった。また、道路はまだアスファルト舗装されていなくて、雨の日の通勤は長靴が必要でしたよ。吹田は今、本当に便利で快適になりました。

**森中**..ただ、人と人のつながりは薄れているように感じます。プライバシーを守るのも大切ですけど、地域の人たちがなんでも助け合っていた昔がよく思えることもありますね。

**松本**..自治会でも今、「助け合い」が課題になっています。

**森中**..人やまちへの感謝、思いやりも忘れてほしくありません。

**坊野**..これから先の吹田は、さらに友愛を持って暮らせるまちであってほしいと願っています。

Three citizens who were born in 1940 and have lived in Suita for a long time gathered to talk about the "past and future of Suita". They looked back fondly on their childhood days when the entire region including rice paddies and open fields was one huge playground for them. Suita City experienced a drastic change as it underwent housing development and urban function enhancement for Expo'70. While the city become beautified and convenient, people seem to have turned less and less connected with each other in recent years. The three hope that the city grows into a place where people live with more compassion in their hearts.